

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

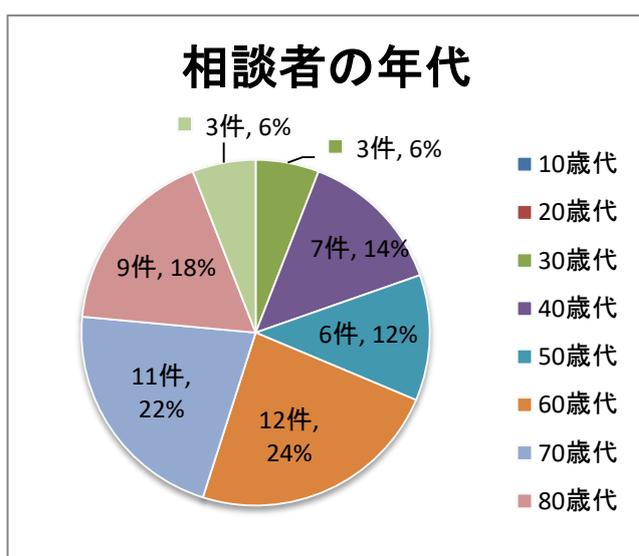
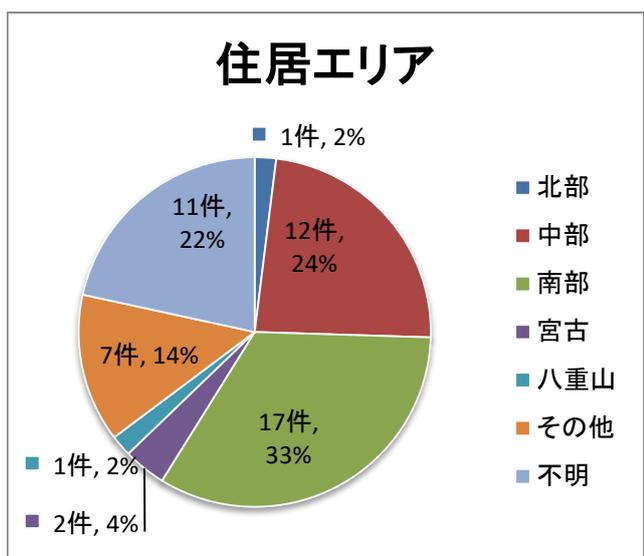
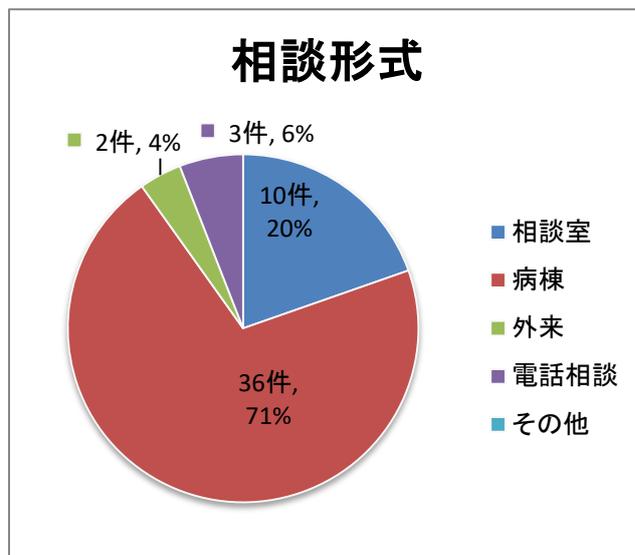
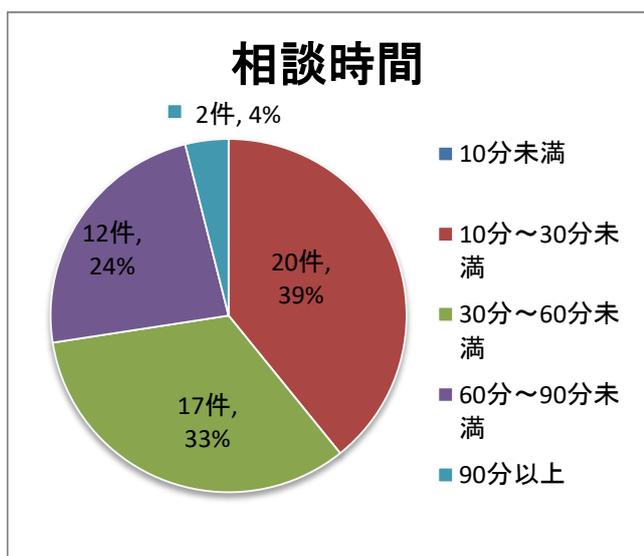
実施期間：令和2年1月1日～令和2年3月31日

がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

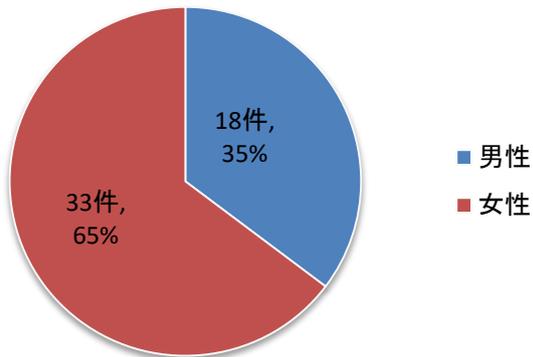
- 調査対象期間 令和2年1月1日～令和2年3月31日
- 調査件数 51 件

相談月	件数
1月	25
2月	21
3月	5
合計	51

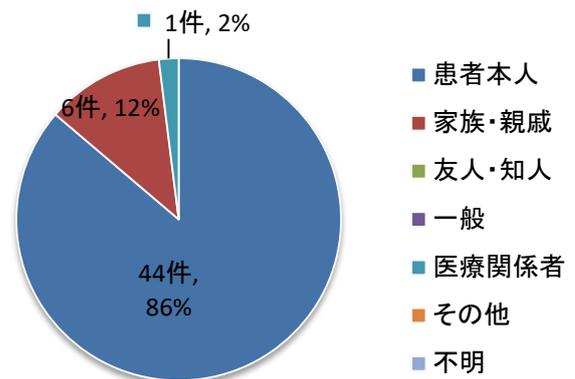
* 新型コロナウイルス影響に伴い減少。



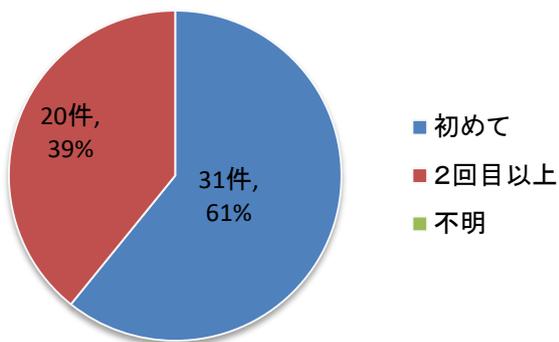
相談者の性別



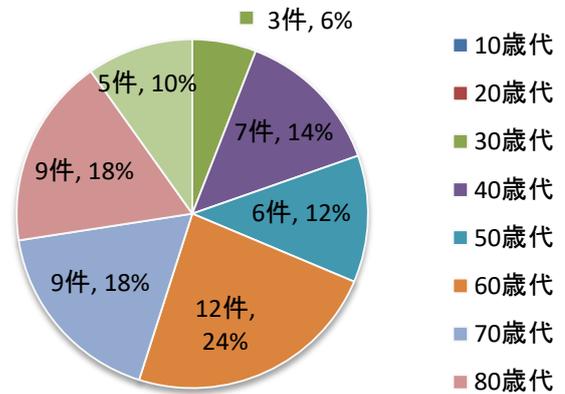
相談者のカテゴリー



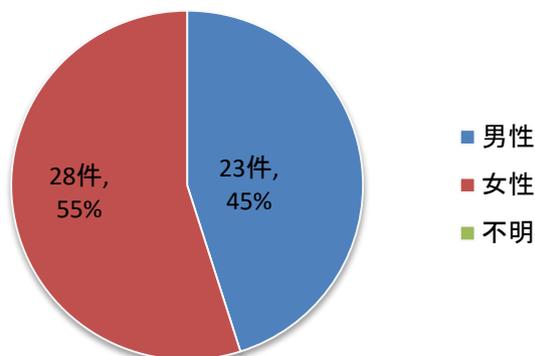
相談者の利用回数



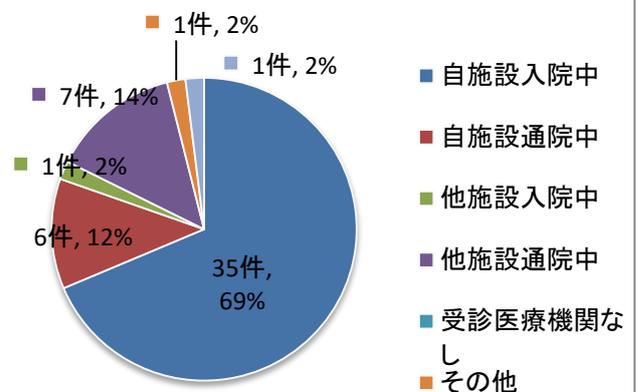
患者本人の年代



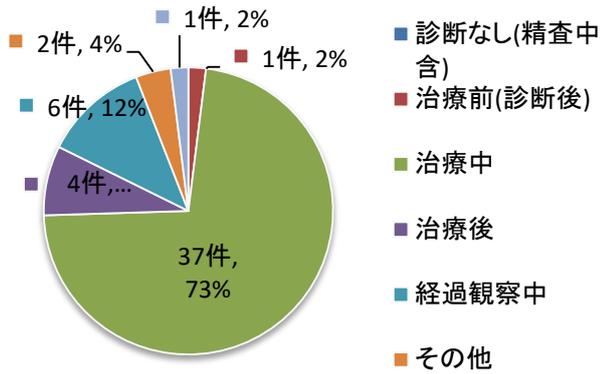
患者本人の性別



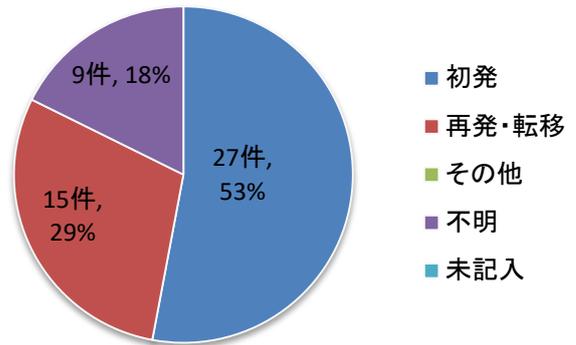
受診状況



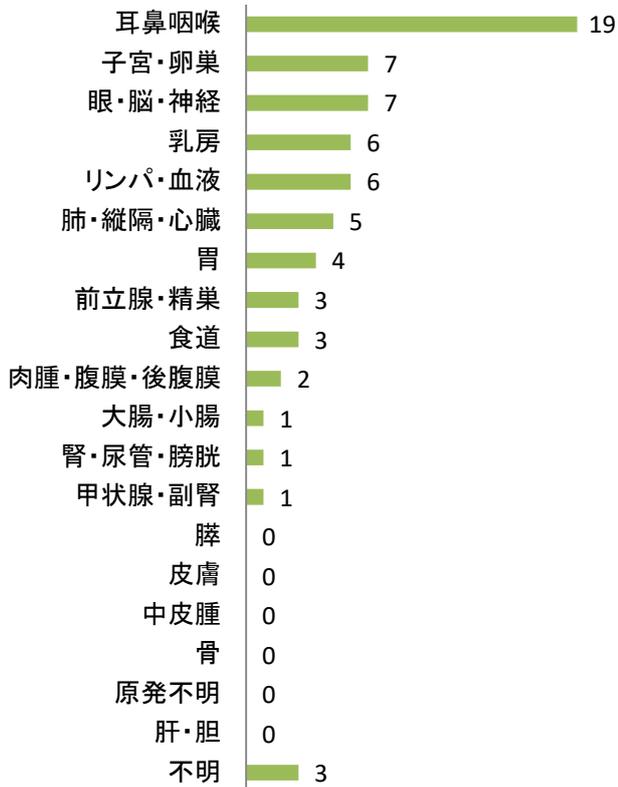
現在の治療状況



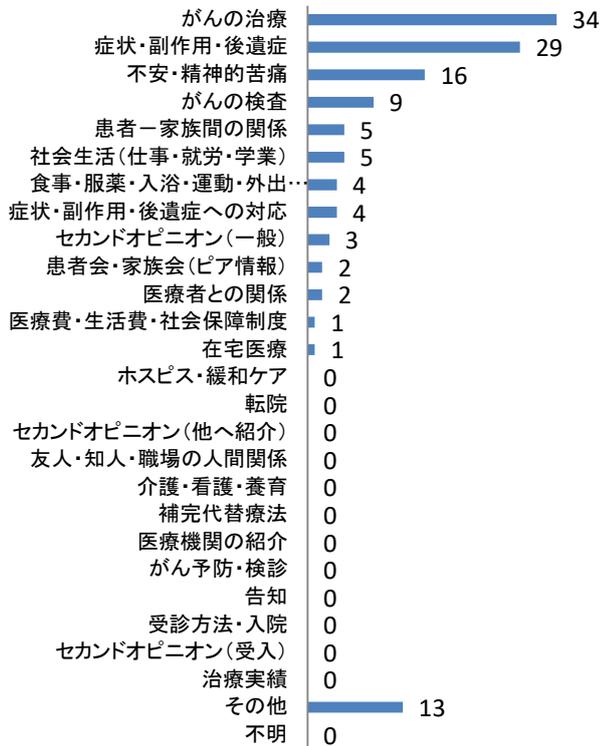
がんの状況



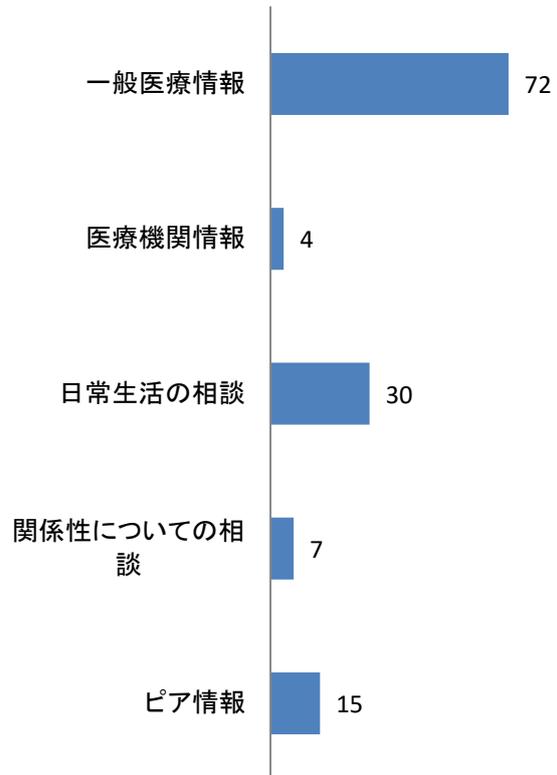
がんの部位



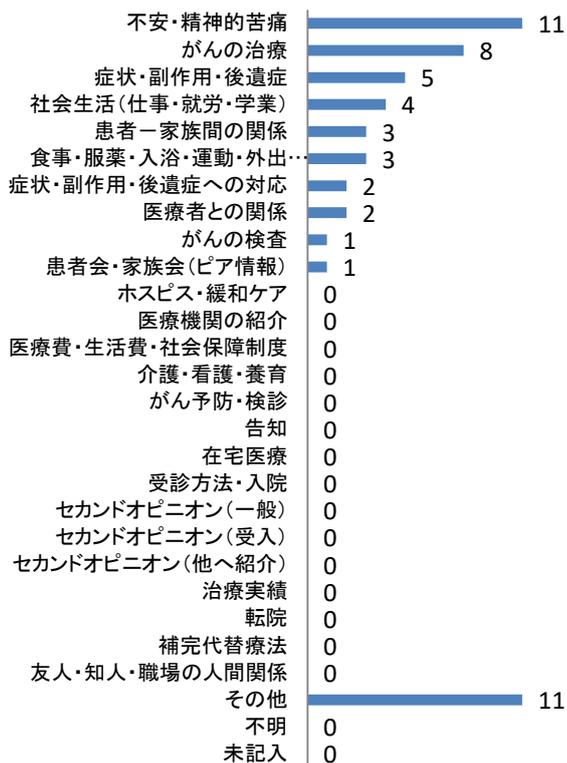
相談内容 (実施したものすべて)



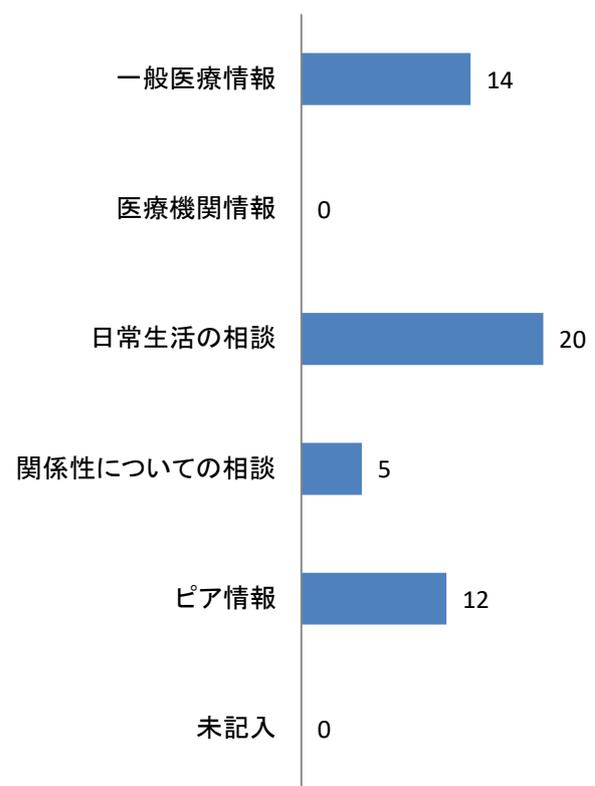
相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



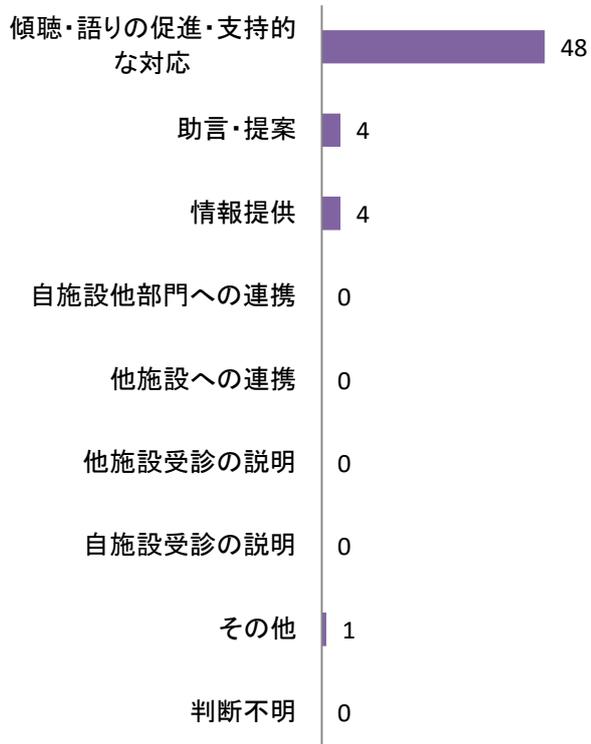
相談内容 (最も比重の高いもの)



相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



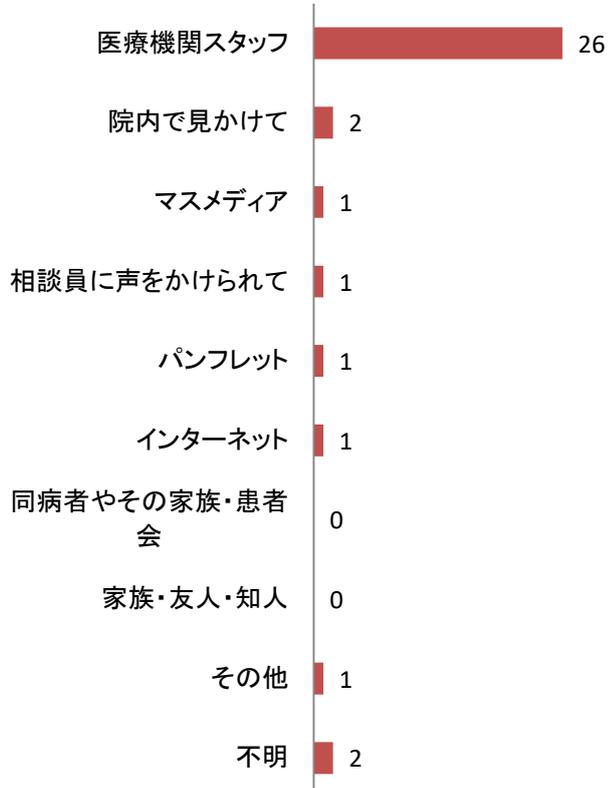
対応内容 (実施したものすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



令和元年度

がん相談できる島づくり がんピアキャラバン
in 久米島 開催報告

実施日：令和2年2月21日（金）

【名 称】

がん相談できる島づくり がんピアキャラバン

離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、地域のがん関係者等との協働によりがん患者支援を行うものである。主たる内容はがんピアサポーターや医療者によるがん相談とし、支援体制の普及啓発活動も同時に行う複合イベントである。

【目 的】

1. がん患者や家族の不安軽減

専門家による相談会や、当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

2. がんピアサポートの周知

他者へのがん相談の機会が少ない地域へ、センターの相談員によるピアサポートを提供することでピアサポートを知る機会を与え、地元のピアサポーターの活用につなげる。

【概 要】

1. 日 時 令和2年2月21日（金）
2. 場 所 公立久米島病院 〒901-3121 久米島町字嘉手苅 572 番地 3
3. スタッフ 沖縄県地域統括相談支援センター
琉球大学医学部附属病院がんセンター
センター長、事務補佐員2名、相談員2名
4. 対 象 地域住民の皆様
5. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター（令和元年度 沖縄県委託事業）
6. 共 催 琉球大学医学部附属病院がんセンター
7. 協 力 公立久米島病院
8. 参加費 参加無料・相談無料

<講演会> 16:00～17:00
●「ピアサポート活動とがんについて」
●「わたしとピアサポート（体験談）」

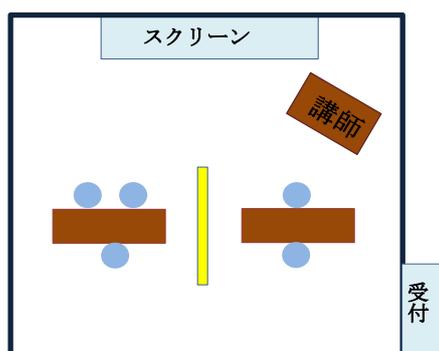
<相談会> 17:00～18:30 ***当日受付**
全3回（各30分）開始時間17:00、17:30、18:00 予定
相談会① 医師による相談
相談会② がんピアサポート相談

<パネル展> 14:00～18:00

【タイムスケジュール】

開始	終了	時間	内 容
14:00			手荷物搬入、会場設営 事前打ち合わせ 公立久米島病院スタッフとの打ち合わせ
14:30			ピアサポート展スタート
16:00	17:00	60分	講演会
17:00	17:30	30分	相談会 1回目
17:30	18:00	30分	相談会 2回目
18:00	18:30	30分	相談会 3回目
18:00			ピアサポート展終了
18:30	18:50	20分	振り返り、片付け、退館

【会場】1F会議室



<講演会> スクール形式

<相談会>

①：医師による相談

②：がんピアサポート相談（2名1組）

*テーブルを挟んで向かい合い、またホワイトボードで仕切り、相談者同士が顔を合わせないように配慮。

*ピアサポート展は入口玄関にて開催。

【参加人数】

<講演会> 12名

<相談会> ①医師による相談2件 ②がんピアサポート相談1件 計3名

【振り返り】

- ・初の久米島開催で、新型コロナウイルスの影響、また地域性を考えると厳しく参加者は少ないのではと思われたが、病院スタッフの周知、お声掛けにより 12 名参加、何とか形になったのでホッとした。
- ・講演会、特にピアサポーターの体験談ではお話に聞き入り、うなずいたり相槌を打ったりしていた。やはり、体験したからこそその心情や現状が一番響いていたようで、関心度の高さが伺えた。
- ・ある程度治療を終えているが、まだかなりの不安が強く不安定。また主治医とのコミュニケーション不足、治療に関しての質問もみられたことから、途中、増田先生にも入ってもらった。医師からの言葉で納得、落ち着いたようだった。相談を受けたからとはいえ無理に解決しようとはせず、みんなで対応できたので良かった。
- ・ご家族のことで相談にいらした方が、涙を流しながらも笑顔を見せてくれた。地域連携室スタッフもフォローしてくれ、安堵されたようで良かった。
- ・ピアサポーター養成講座をぜひ受講したいという方がおり、ご自身の経験を活かして久米島でもピアサポートができればと話してくれた。地域連携室スタッフとも面識があり、協力・連携していくことで一致した。
- ・講演会前に、院内にいる患者さんへ声かけ、チラシ配りをした。今回、参加はなかったが、イベント当日の対応としては今後も続けたい。

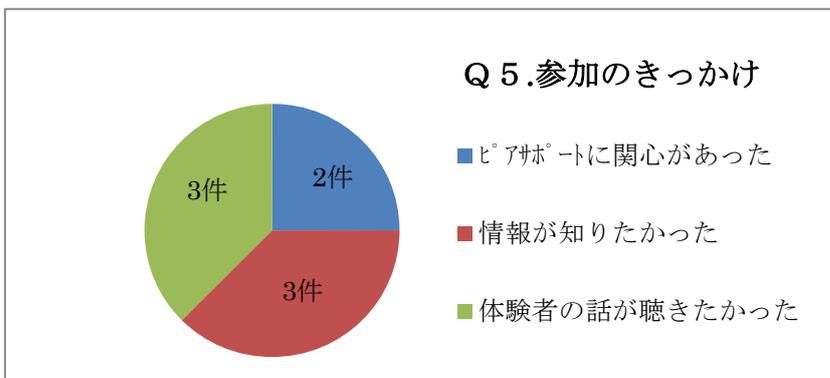
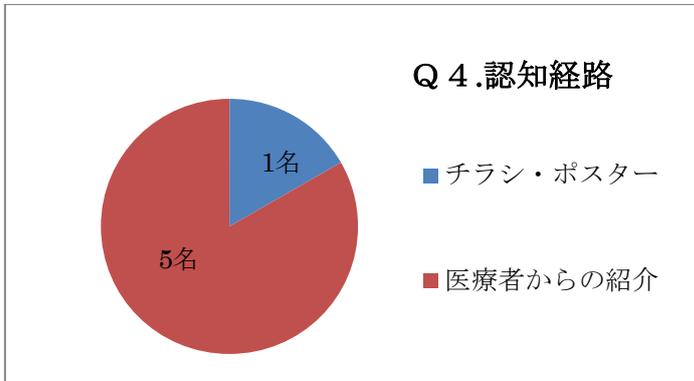
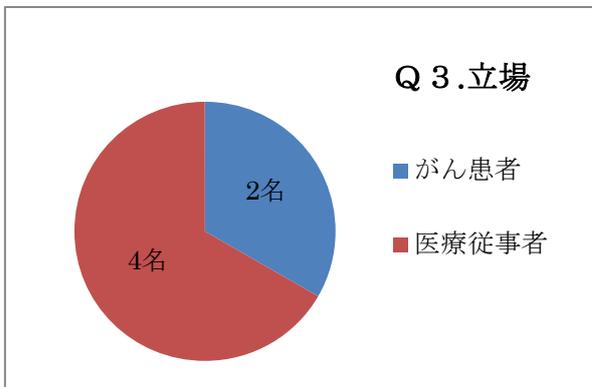
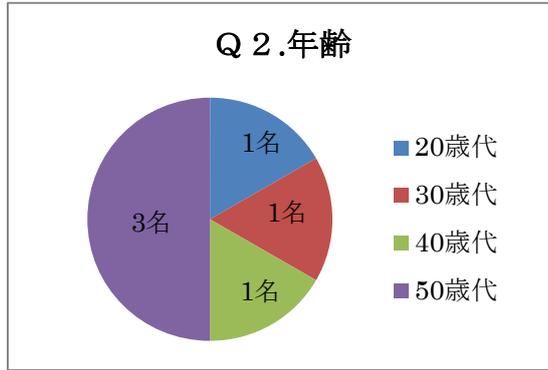
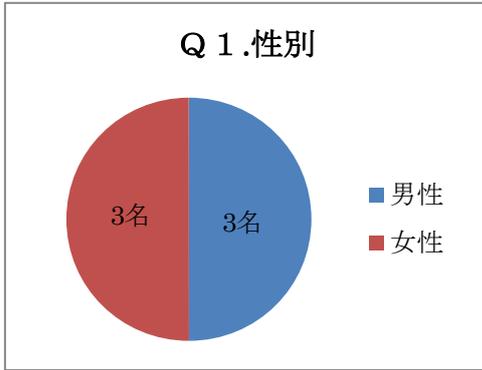
【反省点】

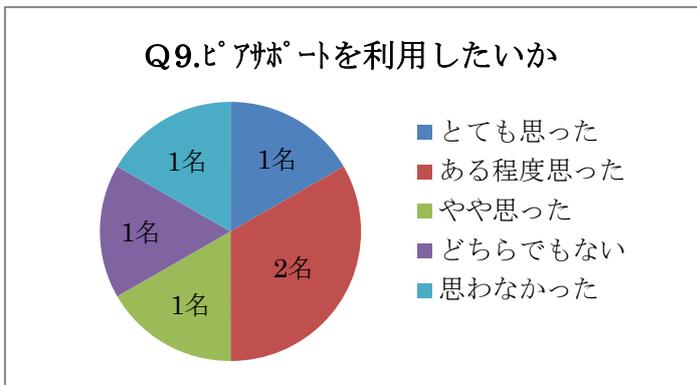
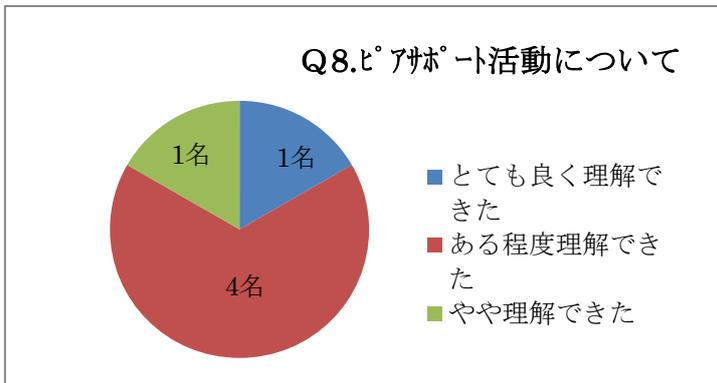
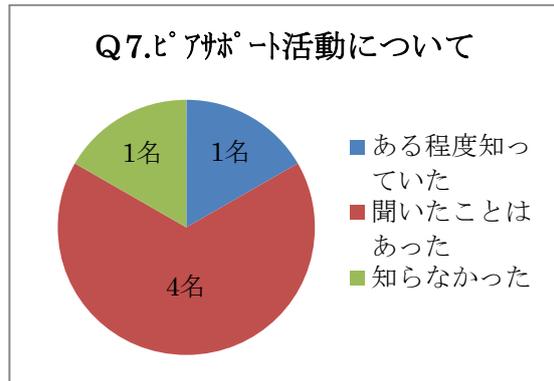
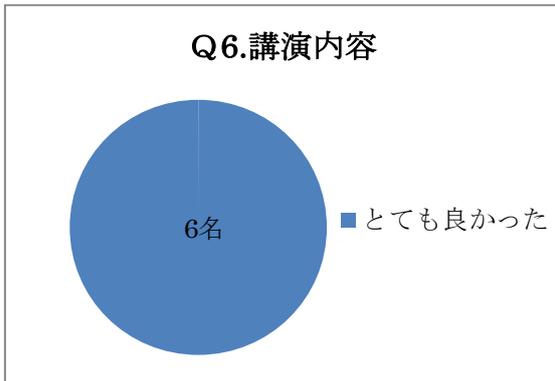
- ・何度も確認したつもりだったが、パネル展スペースなど実際には異なり、思うように展示できなかった。離島とはいえ、臨機応変に対応できるような準備、また病院スタッフにも詳細連絡し、理解・協力してもらえるようにしなければ。
- ・急遽決まったイベントとはいえ、役場広報誌に掲載するなど周知不足は否めなかった。

【今後の課題】

- ・離島やへき地でのパネル展は、どうしても短時間となってしまうので、広く周知するためにも 1 日だけでなく 1 週間ほど期間を設けて設置した方がいい。チラシやポスターだけでなく、他にも方法を考える必要がある。
- ・病院側から、どうしても久米島は地域的に病院に足を運ぶこと自体が敬遠されがちなので、次回は役場にも協力を仰ぎ、別の場所、ホール等で開催するとさらに大勢の方が参加してくれるのではと提案があったので、協議し対応したい。

【アンケート集計結果】 回答者 6 名





Q 10.ご意見・ご感想

- ・「がんに罹ることとは」の中で、門中や一族のお話が出たが、解りきったこととはいえ、先生にちゃんと説明してもらって良かった。納得した。
- ・ピアサポートについて知らなかったが、講演を聴いたことで理解できたので、周りにも教えてあげたい。
- ・途中参加だったので、またぜひ開催してほしい。

【当日の様子】



▲講演会



▲相談会



▲がんピアサポート展

【案内チラシ】

令和元年度 沖縄県委託事業
がん相談できる島づくり がんピアキャラバン in 久米島

誰かに話をきいてほしい。
 わたしと同じ思いをいっている人はいるの？
 家族として何が出来るだろう？

2/21(金)
参加無料

**ひとりでは不安なまま
 いっしょなら共感できる**

「がん」と診断されると誰でも不安になります。
 わたしたちも経験しました。わたしたちは仲間です。
 不安や心配ごと、心の整理をしてみませんか。
 琉大病院で活動しているピアサポーターがおじゃまします。

講演会
 16:00~17:00
 ●ピアサポート活動とがんについて
 ●わたしのピアサポート(体験談)

相談会
 17:00~18:30
 ●医師による相談
 ●ピアサポーターによる相談

お気軽にご参加ください。

【お問い合わせ】
 * 沖縄県地域統括相談支援センター (がんピアサポート相談室)
 TEL 098-942-3407 FAX 098-942-3408
 * 公立久米島病院 地域連携室
 TEL 098-896-7722

がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 1

【目的】

沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣して活動の場の創出を図る。

【概要】

1. 名称 中部地区ゆんたく会（がんピアサロン）
2. 日時 平成31年4月23日（火）14：00～16：00
3. 場所 沖縄県立中部病院 第3会議室
4. 派遣者 ピアサポーター2名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 沖縄県立中部病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13：30	13：55	25分	ピアサポーター、相談員集合 事前打ち合わせ (自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ) 沖縄県立中部病院スタッフとの打ち合わせ
14：00	16：10	130分	サロン（フリートーク）
16：10	16：30	20分	ピアサポーターとの反省会（振り返り）
16：30			終了

【当日の様子】

新年度 1 回目、担当者も新しくなり緊張感があつたが終始和やかに進んだ。術後間もない初参加の方が告知されたとき、術後、治療中のことや「がん」についての勉強も含めお話を聞きたいということで、みなさんがそれぞれお話をされ、フリートークに。不安もあるだろうが、同じがん種でも年齢や体質、体力も違うので、神経質にならずストレスを溜めず、無理しない程度に運動を心がけ自分らしくいればよいとお声かけをすると「頑張ります」と笑顔で帰られた。お互いが体験談をお話したり聞いたり励ましたりと全員でピアサポートする形となったが、参加人数が多いと全員がお話するには物足りなさを感じる場合があるので、次回はグループに分かれての対応が望ましい。

参加者 13 名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 2

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 令和元年5月15日(水) 14:00~15:30
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター3名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 那覇市立病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:30	13:50	20分	ピアサポーター集合 事前打ち合わせ (自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ) 那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:30	90分	サロン(フリートーク)
15:30	15:45	15分	ピアサポーターとの反省会(振り返り)
15:45			終了

【当日の様子】

急遽、相談員が参加できずピアサポーターのみでの対応に。個人対応はなし、経験豊富なベテランピアサポーターに進行役を務めてもらいながらフリートークに徹した。初参加の方が4名おり「がん」と診断された時の気持ち、治療に対しての不安感、お仕事を続けながらの治療について思うことをそれぞれ吐露してくれた。他の参加者の中に元外科医の方がいらして、主治医との信頼関係やセカンドオピニオンについて詳しくお話してくれた。また、病気と向き合い闘うことは大事だが真面目に取り組みすぎて自分自身に余裕がなくなることはいけないので、自分のやりたいことや楽しいこと、もう少し外にも目を向けて明るく前向きに過ごすことも大事だとも話してくれた。サロン終了後、お一人お一人に声をかけたが「また参加したい」と言ってくれたので良かった。参加者10名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 3

【概要】

1. 名称 中部地区ゆんたく会（がんピアサロン）
2. 日時 令和元年7月16日（火）14：00～16：10
3. 場所 沖縄県立中部病院 第3会議室
4. 派遣者 ピアサポーター2名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 沖縄県立中部病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13：40	13：55	15分	ピアサポーター、相談員集合 事前打ち合わせ （自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ） 沖縄県立中部病院スタッフとの打ち合わせ
14：00	16：10	130分	サロン（フリートーク）
16：10	16：30	20分	ピアサポーターとの反省会（振り返り）
16：30			終了

【当日の様子】

最初の 15 分間、理学療法士の方より座ってできるストレッチの指導があり、リラックスした状態で始まった。自己紹介を兼ねてお一人ずつ近況等をお話、その合間に質問したりと全体でのフリートークで進んだ。その中で、砂の上を素足で歩くと気持ちが良いと足の裏の刺激にもなるので、海に行けないときは購入した砂を自宅ですらい等に敷き詰め足踏みしたりとリフレッシュしているとお話があった。参加者からは自分も試したいとの声が多く、また砂浜でのヨガ体験も開催してほしいとの提案もあった。最後 20 分ほど、2 グループに分かれてのトークとなったが、沖縄ならではの野草（薬草）のお話だったり、女子会のように世間話と終始明るい雰囲気でのゆんたく会だった。

参加者 14 名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 4

【概要】

1. 名称 那覇がん患者ゆんたく会 がんピアサロン
2. 日時 令和元年8月21日(水) 14:00~15:40
3. 場所 那覇市北保健センター
4. 派遣者 ピアサポーター2名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 那覇市立病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13:40	13:55	15分	ピアサポーター集合 事前打ち合わせ (自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ) 那覇市立病院スタッフとの打ち合わせ
14:00	15:40	100分	サロン(フリートーク)
15:40	15:50	10分	ピアサポーターとの反省会(振り返り)
15:50			終了

【当日の様子】

社会福祉士実習生も参加、輪の中に入れてもらったことでお子さんやお孫さんと接するように皆さん笑顔になり場が和んだ。脱毛ケアやお食事について質問があり、半年もすれば生えてくるので安心してほしい。健康管理のため野菜や野草でスムージーを作り飲んでいるが、好きなものを飲んだり食べたりし我慢しないこと。医師の言うことは大事だが、ストレスを抱え込まず気の持ちようが大事だと皆さん一様にお話していた。最後にピアサポーターが三線と歌を一曲披露し終了。三線の音色に癒されたと、皆さん笑顔で帰られた。保健センターは、窓が大きく陽が差し込み明るい。地域性もあると思うが、もう少し参加者が増えてくれるよう促しが必要。

参加者 12 名。



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 5

【概要】

1. 名称 中部地区ゆんたく会（がんピアサロン）
2. 日時 令和元年9月26日（木）14：00～16：00
3. 場所 沖縄県立中部病院 第3会議室
4. 派遣者 ピアサポーター2名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員2名
沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 沖縄県立中部病院 がん相談支援センター

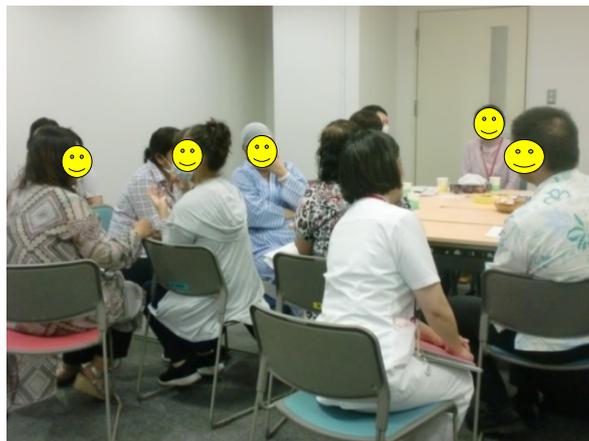
【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13：40	13：55	15分	ピアサポーター、相談員集合 事前打ち合わせ （自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ） 沖縄県立中部病院スタッフとの打ち合わせ
14：00	16：00	120分	サロン（フリートーク）
16：05	16：20	15分	ピアサポーターとの反省会（振り返り）
16：20			終了

【当日の様子】

最初の 10 分ほど栄養士による簡単な栄養指導があり、自己紹介へ。その中で再発された方が「家族の前では弱音を吐けないが、この場所ならみんな分かってくれると思って来た。」また、ステージ 4 と診断されたご家族が「どう対応していいのか分からない。」と、それぞれ涙ながらにお話された。絶対に負けない、勝つんだ。家族一緒になって取り組み前向きに捉え戦うこと。気の持ちようで変わるし大事だとみんなでお声かけ。その後、初めての方も含め今回参加者が多かったのも、お一人お一人が満遍なくお話しできるよう 5~6 のグループに分かれてのフリートークとなった。ピアサポーターとの振り返りでも仲間として共感・共有し、いろいろな話しができて良かったとサロンの意義を実感、お互い充実した時間を過ごせたようだった。

参加者 20 名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 6

【概要】

1. 名称 中部地区ゆんたく会（がんピアサロン）
2. 日時 令和元年11月28日（木）14：00～16：00
3. 場所 沖縄県立中部病院 第3会議室
4. 派遣者 ピアサポーター3名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 沖縄県立中部病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13：35	13：55	20分	ピアサポーター、相談員集合 事前打ち合わせ （自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ） 沖縄県立中部病院スタッフとの打ち合わせ
14：00	16：00	120分	サロン（フリートーク）
16：05	16：25	20分	ピアサポーターとの反省会（振り返り）
16：25			終了

【当日の様子】

初参加の方がいなかったのので近況報告となった。転移がみられるということでセカンドオピニオンを受け、年明けに手術される方。再発→入院と落ち込んだが、前回参加して元気になったのでまた来たという方。愛知県へ100kmウォーキング大会に出場したが脛を負傷し、来年リベンジしたいとお話された83歳の方。それぞれがん種は違うが、お話をしたり聞いたりして元気になって下を向くことなく前向きにいこうと最後はみんな笑顔だった。今回120回目、満10年を迎えた節目でもあり、クリスマス前でもあったので、みんなでハンドベルを演奏したり三線を披露するなど終始明るかった。初めて参加したピアサポーター2名いたが、温かい雰囲気の中、緊張もほぐれ、こちらも終始笑顔での対応となった。

参加者 16名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 7

【概要】

1. 名称 中部地区ゆんたく会（がんピアサロン）
2. 日時 令和2年1月23日（木）14：00～16：00
3. 場所 沖縄県立中部病院 第3会議室
4. 派遣者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 沖縄県立中部病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13：40	13：55	15分	集合 沖縄県立中部病院スタッフとの打ち合わせ
14：00	16：00	120分	サロン（フリートーク）
16：05	16：15	10分	相談員、中部病院スタッフとの反省会（振り返り）
16：25			終了

【当日の様子】

新年最初のゆんたく会ということで、近況を含め、今年の抱負をそれぞれお話した後、グループに分かれてのフリートークに。たまたま参加者は女性だけ、皆さん体調が落ち着いている方達だったので、病気のことだけでなく、女子会のように笑い声が各グループから聞こえ賑やかだった。また、北部医師会病院から視察にいらしており、ゆんたく会運営に対しての手順や心構え、雰囲気作りなどについて、中部病院、琉大病院スタッフと話し合った。最初から詰め込まず、気負わずゆっくり、他病院とも連携しながら進めていくことを確認した。

参加者 15名



がんピアサポーター派遣事業

沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書 8

【概要】

1. 名称 ゆんたく会（がんピアサロン）
2. 日時 令和2年2月4日（火）14：00～16：00
3. 場所 琉球大学医学部附属病院 大学院セミナー室
4. 派遣者 ピアサポーター2名
5. 引率者 沖縄県地域統括相談支援センター相談員1名
沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐員1名
6. 内容 交流サロン
7. 主催 琉球大学医学部附属病院 がん相談支援センター

【当日スケジュール】

開始	終了	時間	内容
13：30	13：55	25分	ピアサポーター、相談員集合 事前打ち合わせ （自己紹介、がんピアサポーターの心得読み合わせ） がん相談支援センタースタッフとの打ち合わせ
14：00	16：00	120分	サロン（フリートーク）
16：05	16：25	20分	ピアサポーターとの反省会（振り返り）
16：25			終了

【当日の様子】

初参加、2回目以上の方と2グループに分かれてのフリートーク。ピアサポーターと同じがん種の方がおり、お互いの術後、治療後の不安、対応について質問が多くあった。帰り際「自分と一緒にだと思い安心し、気が楽になった。また目の前に元気に過ごしている方がいると励みになる。また次回も参加したい。」と話してくれた。その一方では、若い世代のがんについて話し合った。若い時は体力もあり無理がきくので、がんだけでなく病気についても無関心だが、自分たちの経験を通して、がんについて、検診の重要性についてなど、もっと関心を持ってほしい。自分のことを知る上でも大事ではないか。といろいろな意見があった。ピアサポーターからは「参加した方がそれぞれの思いを吐き出し、気持ちを発散できたように見え、また来月と声をかけてもらい安堵した。」との感想。終始笑顔での対応となった。

参加者 14名

